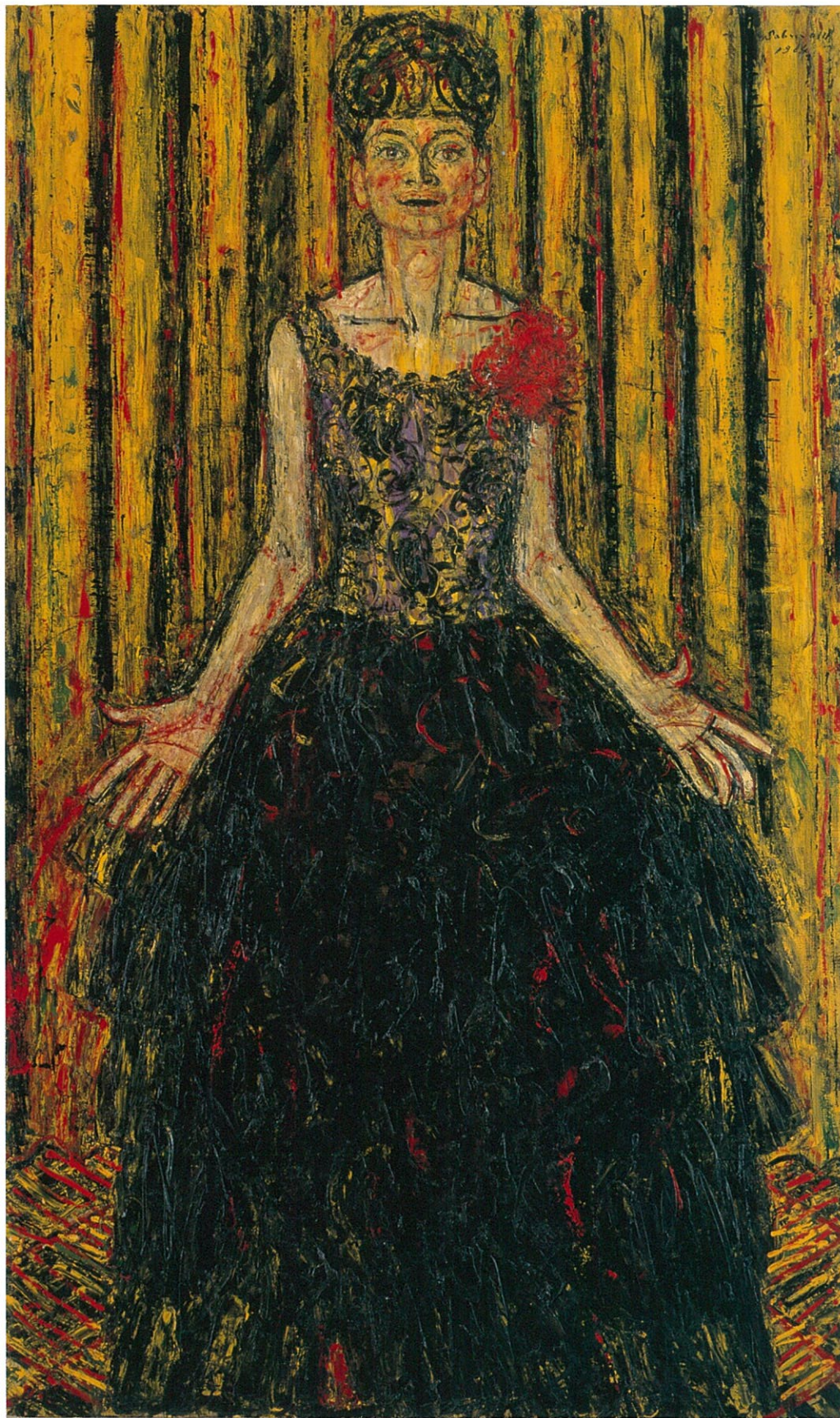


女優・踊り子・バレリーナ

2013年度第Ⅰ期収蔵品展

■ 宮本三郎が描いた女性たち



《歌い手》カンヴァス・油彩、1964年（モデル：雪村いづみ）

2013年4月2日（火）～7月28日（日）

開館時間 ● 10:00～18:00（最終入館は17:30まで） 休館日 ● 毎週月曜日（ただし祝・休日の場合は開館、翌日休館） 観覧料 ● 一般200円（160円）、大高生150円（120円）、65歳以上／中小生100円（80円）※障害者の方は100円（80円）。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者（当該障害者1名に付き、1名に限る）は無料。※（ ）内は20名以上の団体料金。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。※中・小学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/

交通案内 ● 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分 東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分 東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分



女優・踊り子・バレリーナ

2013年度第一期収蔵品展

■ 宮本三郎が描いた女性たち

宮本三郎(1905-1974)は、生涯を通し「人間」を大きな主題として描いた洋画家です。したがって、作品はそのモデルがとて重要な役割を果たしていますが、宮本は1966(昭和41)年のエッセイの中で、近頃は職業意識の高い、「いいモデル」が少なくなったと書いています。それは、モデルを前にして制作する画家が減ったことも原因かもしれませんが、一方で宮本が熱心に描いたのが、女優、踊り子、バレリーナといった、モデルを本来の職業としない女性たちでした。

そもそも、宮本が考える「いいモデル」とはどのような人を指すのでしょうか？

容貌が美しく、プロポーションがよければ、「いいモデル」なのでしょうか？

その言葉に耳を傾けてみましょう。

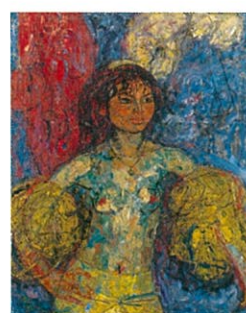
「シンがしっかりしている人はポーズもしっかりしているといえるのだろう。自分にうちかっている職業人は、画家としてはとても描きやすい。自分を支えている精神の強い人はモデルとしての姿勢もいい。こういうことは、職業モデルにも、芸術家にも、浅草の踊り子についても、共通していえるという気がする。」

(宮本三郎「随想 画家とモデル」、『サンデー毎日』1966年5月22日号)

画家は作品を描くために、モデルを観察し、まとまったフォルムやヴォリュームを抽出して、画面の中にまとめあげなくてはなりません。宮本が考える「いいモデル」とは、人間として「シンがしっかりしている人」であり、それはモデルを職業としているかを問うものではありませんでした。

本展では、女優の高峰秀子、鰐淵晴子、歌手の雪村いづみ、ヴァイオリニストの巖本真理、そして街場の劇場で出会った踊り子やバレリーナらを描いた作品をご紹介します。「自分を支えている精神の強い人」の姿を、宮本三郎は絵筆を介して力強く物語っています。

- ①《演奏者》カンヴァス・油彩、1956年(モデル：巖本真理)
- ②《黒鳥》カンヴァス・油彩、1963年
- ③《バレリーナ》カンヴァス・油彩、1962年
- ④《女性像》紙・コンテ・パステル、1957年頃(モデル：高峰秀子)
- ⑤《鰐淵晴子像》カンヴァス・油彩、1970年頃
- ⑥《踊子》カンヴァス・油彩、1962年～64年頃
- ⑦《浅草の踊り子》カンヴァス・油彩、1963年



世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL 03-5483-3836
www.miyamotosaburo-annex.jp

交通案内 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分
東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分



©宮本和義



本館情報

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL 03-3415-6011(代) ハローダイヤル 03-5777-8600
www.setagayaartmuseum.or.jp/
※詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催企画展

- エドワード・スタイケン写真展 1月26日(土)～4月7日(日)
- 暮らした美術と高島屋 4月20日(土)～6月23日(日)
- 榮久庵憲司とGKの世界 7月6日(土)～9月1日(日)

同時開催
ミュージアム コレクション

- 高橋秀の世界 版画1959-2010 1月25日(金)～4月21日(日)
- 柚木沙弥郎 いのちの旗じるし 5月2日(木)～8月18日(日)



写真上下：©宮本和義



世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL 03-5450-9581 www.mukaijunkichi-annex.jp/
向井潤吉と四季 春/夏 2013年4月2日(火)～7月28日(日)

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL 03-3416-1202 www.kiyokawataiji-annex.jp/
清川泰次の世界Ⅰ 2013年4月2日(火)～7月28日(日)

分館情報